

平成28年度事業報告書

公益財団法人の移行認定を受けて5回目の事業報告となりました。

幼児画・小学校児童画展助成及び顕彰事業

I…・幼児対象

第22回福岡県幼児画展（主催 福岡県幼児造形教育研究会・西日本新聞社）は、福岡アジア美術館で平成29年1月5日（木）から10日（火）まで開催されました。今年も事業開催に対する助成金として85万円を援助しております。特別賞（18点）特選（132点）入選（300点）の450点が展示されており、9日には、同美術館の交流ギャラリーにて表彰式が執り行われ、特別賞を受賞した子どもや関係者の参加がありました。開催期間中は昨年より天候にも恵まれ、のべ2,772名の来場がありました。なお、「福岡県知事賞」をはじめ、特別賞受賞者18名については、11月24日付西日本新聞紙上で掲載されています。応募総数は5,398点（107園）の作品が寄せられ、昨年度より125点の減少でしたが、筑後地区では増加しております。今後も各園の指導に当たっている先生方の業務状況や年間スケジュールなどに配慮し時間的余裕のある応募体制が必要と思われます。今年のお応募作品は子どもたち一人一人の個性を表現したものが多く、色遣いも鮮やかで明るく元気のある作品が多くありました。審査会は例年通り当財団の大場、一木先生、古川先生も参加いただき表彰式では、江口理事が賞状授与を行いました。

II…・小学校対象

- 1) 第65回福岡県小学校児童画作品展（主催 福岡県小学校図画工作教育研究会）に対し、活動推進助成のため第24回援助（総額約97万円）を行い優秀な16校に松本文化芸術振興財団賞として本年度から新たに賞状・ブロンズ盾（『ひまわりと少女』…片山博詞作）・筒を贈りました。同作品展は、福岡市美術館市民ギャラリーで平成29年1月5日（木）から9日（月）まで開催されました。また、5日には学校賞

表彰式が福岡市美術館講堂で行われ、大場和夫理事が賞状授与を行いました。応募総数約 25 万点の中から各地区で審査後、特選に選ばれた作品 834 点が展示されました。「学校賞」受賞校の校長及び図画工作科担当先生・「特選」入賞児童とそのご家族、加えて一般客の来場者も多数ありました。

- 2) 上記作品展の特選作品受賞者に記念品（受賞者各人の作品の特製写真 5 枚）を例年と同じく贈呈しました。学校 397 校分、個人名として 834 名分です。地区名を小学校名の前により判り易いようにつけ、子どもたちの画に細心の注意をはらいながら仕分け・発送を行いました。今回は送付学校数が少なかった由もあり発送によるトラブルはありませんでした。

美術展事業：貸出管理運営事業

- 1) 平成 27 年度第 21 回福岡県幼児画展の台紙貼り付け作業を行い、収蔵作業を行いました。
- 2) 平成 26 年度第 63 回福岡県小学校児童画作品展の台紙貼り付け作業を行い、収蔵作業を行いました。
- 3) 絵画データベースシステムに平成 27 年度第 64 回福岡県小学校児童画作品展特選作品（834 点）と平成 27 年度第 21 回福岡県幼児画展特別賞及び特選作品（150 点）の文字情報入力を行いました。
- 4) 福岡県小学校児童画作品展特選作品の映像入力は、撮影画像データ（高橋カメラ制作）を、又福岡県幼児画展の方は、当財団でデジタルカメラの画像撮影をした画像データを絵画データベースシステムに追加登録を致しました。
- 5) 福岡県小学校児童画作品展の特選作品貸出件数は 11 件で、貸出総数は 245 点でした。今年度は学校の先生方のみならず地域の金融機関や施設から展示希望の問い合わせもあり多様なニーズがありました。詳細は、平成 28 年度作品貸出利用状況で列記しています。

美術展事業：インターネットこども美術館ふくおか事業

- 1) 新しいホームページを立ち上げ、4 年経過しましたが、スマホ対応画面とともに引き続き高評価をいただいています。
- 2) 個人情報保護・プライバシーの観点からご父兄より稀に掲載の良否についてご意見問い合わせもごさいますが、子どもたちの情操教育への

貢献を信じて、引続き動向を観察していきたいと考えます。

- 3) 絵画検索システムが経年によりシステム老朽化もありますので、29年度の事業活動にその改善を予定しております。
- 4) 『インターネットこども美術館ふくおか』のホームページの平成27年度の特選受賞者の画像及び情報追加更新を行いました。2万2千点以上のデータ蓄積となります。